

質疑・一般質問

9月17日、18日、19日の本会議では、24人の議員が登壇し、令和5年度一般会計決算や水道事業会計決算、有機フッ素化合物による水質汚染などについて、市の見解を求めました。

発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、二次元コードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

- 発言順— () は会派名
- 千住啓介(自由民主党明石・代表質問)
 ①令和5年度決算 ②丸谷市長が目指す明石市の未来
 ③スマートインターチェンジ設置
- 梅田宏希(公明党)
 ①令和5年度明石市一般会計決算 ②旧明石市立図書館
 中川夏望(市民の会)
 ①令和5年度決算 ②子育て支援のさらなる拡充のために
 ③がん検診の拡充 ④市民栄誉賞の創設
- 宮坂祐太(明石かがやきネット)
 ①令和5年度明石市水道事業会計決算
 上田雅彦(明石維新の会)
 ①令和5年度決算
 榎本和夫(自由民主党明石)
 ①混乱する兵庫県政が明石市政に与える影響 ②「明石型生船」
- 尾倉あき子(公明党)
 ①子ども・若者育成支援推進法改正に伴うヤングケアラー支援強化への本市の取組 ②全国的に広がる小学校給食の無償化の実現 ③熱中症予防のさらなる取組でやさしいまちづくりを
- 山中裕司(市民の会)
 ①住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように ②地域の生活環境問題の解決に向けて ③海岸と護岸の生態系を守る取組と持続可能な管理
- 林丸美(明石かがやきネット)
 ①西明石地区活性化に向けた取組 ②明石川P F A S問題に関する市民の不安への対応 ③こども会議
- 中村茂雄(明石維新の会)
 ①公衆無線LAN環境整備 ②バリアフリーに関する補助制度
- 出雲有希子(自由民主党明石)
 ①国民健康保険料の在り方 ②大蔵海岸民活施設用地管理事業 ③あかし動物センターの活用
- 国出拓志(公明党)
 ①教育行政 ②災害用自動販売機
- 黒田智子(市民の会)
 ①不登校支援 ②学習障害を含む発達障害の早期発見と支援 ③地域共生社会実現に向けて
- 正木克幸(明石維新の会)
 ①仮称「明石若者みらいプロジェクト」の創設 ②地方独立行政法人明石市立市民病院の今後と県との連携
- 井藤圭順(自由民主党明石)
 ①就学前施設 ②小学校に設置されているフリースペース ③「ゼロ・ウェイストあかし」生ごみダイエット作戦
- 飯田伸子(公明党)
 ①誰もが安心して賃貸住宅に入居できる支援制度の構築 ②障害者手帳等の申請・更新時に必要な診断書取得費用の助成
- 金尾良信(市民の会)
 ①住み慣れた地域で安心して暮らせる障害者支援 ②中尾親水公園
- 高尾秀彰(明石維新の会)
 ①消防団
- 三好宏(自由民主党明石)
 ①公共施設のネーミングライツ ②明石中央体育会館と今後のスポーツ環境の整備 ③明石市公設地方卸売市場のこれからの在り方
- 長尾博子(公明党)
 ①誰にでもやさしい市役所窓口 ②聴覚障害者への支援の拡充
- 山下祥(市民の会)
 ①大蔵海岸が「世界一の海岸」となるための施策 ②誰もが安心して快適に楽しめる「豊かな海のまちづくり」
 ③移住者に焦点を当てた施策
- 辻本達也(日本共産党)
 ①大型公共事業の分割発注と地元業者の育成 ②有機フッ素化合物による水質汚染 ③市民からの陳情・意見等の取り扱い ④小学校給食の無償化
- 中西礼皇(対話の会あかし)
 ①チーム担任制 ②歩道橋事故及び大蔵海岸砂浜陥没事故を後世に伝える取組 ③市民まつり、花火大会
- 家根谷敦子(スマイル会)
 ①豊かな海づくり ②誰一人取り残さないやさしいまちづくり

令和5年度決算 増加傾向の扶助費・公債費 持続可能な財政運営に努める

問 令和5年度決算の義務的経費である人件費・扶助費・公債費について市の見解を問う。

答 人件費は、5年度以降、定年を60歳から2年に1歳ずつ引き上げることに伴い年度ごとに大幅な増減はあるが、退職手当の負担が無い年度に市債の発行を抑制するなど後年度の歳出負担を平準化したい。扶助費は、前年度から約45億円増の約475億円で歳出総額の37%を占める。今後も私立保育所等の運営経費や障害福祉事業費などの増加が見込まれるが、



建て替えを控える市庁舎

本市のビジョン 笑顔があふれる やさしいまちへ

問 市民と対話を続ける市長ならではの本市のビジョンと大蔵海岸を柱とした活性化の方向性を聞く。

答 本市のビジョンは市民の笑顔があふれる明石市である。やさしいまちを創るためには市民の声を聴き、情報を共有し、対話を通して共に考え合う積み重ねが大切と考える。来年度に、今後優先的に取り組む施策を示したまちづくり戦略であるあかしSDGs後期戦略計画の策定に着手する。その中で市民との対話、議会との議論を通じてまちづくりの方針を示し大蔵海岸に関するビジョンも盛り込む考えである。明石駅前から明石港東外港地区、大蔵海岸へ至るウォータ―フロントの回遊性の向上を視野に入れながら、大蔵海岸の魅力を引き出すこと、市内外から何度も訪れてもらえるビーチ、観光スポットにすることがさらなるまちのにぎわいにつながるものと考えている。

旧明石市立図書館 撤去と新施設整備一体で実施 今後のスケジュールは

問 旧明石市立図書館における耐震補強と解体新設の経費の比較と、新設のスケジュールについて市の見解を聞く。

答 市は図書館撤去と新設の整備を一体で実施し、県は市と連携を密にしつつ、必要な協力・支援を実施すると



県と連携しながら整備を進める

問 災害時にインターネットを利用した情報収集や連絡手段は重要であり、避難所の通信環境を早急に整備すべきである。市の見解は。

答 指定避難所である小中学校体育館は無料WiFiが未整備だがモバイルルーターを30台備えている。東日本大震災発生時に通信回線の復旧が遅れたことを契機に大手携帯電話

自主財源確保へ 公共施設にネーミングライツ導入は

問 自主財源確保策の一つとして本市の公共施設にネーミングライツ制度を導入しないか。

答 ネーミングライツは、施設の名称に企業名や商品名を付与する代わりに対価を得て、施設運用の財源確保と利用者のサービス向上を図る制度である。県立明石公園でも野球場など

や工事業者を公募する予定である。なお、基本設計段階で行うなど、市民や公園利用者の意見を聞くとともに、県としっかり連携しながら整備を進めていきたい。

災害時に活躍期待 避難所の通信環境 本市の整備状況は

問 災害時にインターネットを利用した情報収集や連絡手段は重要であり、避難所の通信環境を早急に整備すべきである。市の見解は。

答 指定避難所である小中学校体育館は無料WiFiが未整備だがモバイルルーターを30台備えている。東日本大震災発生時に通信回線の復旧が遅れたことを契機に大手携帯電話

会社や国内事業者で構成する無線LANビジネス推進連絡会により災害時に無料でWiFiを利用できるファイゼロジャパンサービスが熊本地震から実用化されている。能登半島地震の際にも地震発生日にファイゼロジャパンに接続でき、携帯電話事業者により各避難所に充電器やWiFi機器が貸し出しされている。災害時のWiFi環境は同連絡会により早期の確立が期待できるが、今後、他市の事例を調査・研究していく。